

2019年 6月 11日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～マンション大規模改修工事の安全確保にIoTを活用～ 工事現場の足場にカメラを設置して遠隔監視

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、マンション大規模改修工事の安全強化を目的として、工事現場の足場にカメラを設置し、足場の状況を遠隔地と共有できるシステムの試験運用を、2019年6月より開始しましたのでお知らせいたします。

管理会社が行う工事の安全確保に向けた考え方

当社はマンション約33万戸を管理する総合不動産管理会社です。年間約180件のマンション大規模改修工事も請け負っており、お客様の安全に十分配慮することが使命と考えております。特に、マンション大規模改修工事はお客様が住まいながら行う工事という特性上、足場の倒壊や墜落・転落災害といった危険回避を徹底することが重要となります。



工事現場の安全確保に向けて足場にカメラを設置

工事現場では、高所でも安全に作業ができるようにするために、「足場」と呼ばれる仮設の作業床・通路を設けることがあります。当社は足場にカメラを設置し、既存の施工管理システム「Field's EYES」と連携させることによって、足場の組立て・解体などの様子を工事現場に加えて本社部門や各営業事業所など複数の目でチェックできるシステムを構築いたしました。

カメラには録画機能とリアルタイムで現場を確認できる機能の2つがあり、主に以下を目的として使用します。

- ①足場の組立て・解体の映像を複眼で確認し、作業員の安全意識を高め、事故を未然に防ぐ。
- ②映像を複数の技術員により検証し、具体的な指導をする。
- ③映像を使用し、若手工事安全担当者の育成・教育を行う。

今回の試験運用を経て、2019年秋頃より順次当社施工現場にて本格展開を予定しております。

今後も「Field's EYES」や本機能を活用し、工事品質を高めるとともに、お客様サービスの向上につながるサービス提供に取り組んでまいります。

・施工管理システム「Field's EYES」

施工管理システム「Field's EYES」とは、マンション大規模改修工事の品質向上を目的として、株式会社穴吹カレッジサービス（本社：香川県高松市、社長：大平康喜）と共同開発のうえ、2016年4月より運用を開始したシステム。

改修工事施工中、当社独自のチェックシートに沿って重点ポイントを確認・記録し、写真と合わせて報告する仕組み。施工状況や進捗状況を現場の工事担当者だけでなく、遠隔地にいる工事統括者や安全品質管理担当など複数の目で管理することができるため、工事品質向上を図ることができる。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：中嶋・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。